

# かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2021年新年号 Vol.54



日の出の景観も、世界遺産。  
 茶草場農法で使う草を刈り、円錐状に束ねる  
 “かつぼし”をモチーフにした粟ヶ岳山頂  
 「茶草場テラス」の木材供給を担いました。  
 公共木造建築で、FSC全体プロジェクト認証を  
 取得したのは、県内初、全国でも3例目です。  
 世界農業遺産を照らす、柔らかくも力強い  
 新しい年の希望の陽光を、皆さまと一緒

丑年謹迎  
 旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。  
 皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 22

「経営ビジョン」20年後の森林組合のあるべき姿を目指して」

新年明けましておめでとございます。昨年中は、この通信をご覧いただいている多くの皆様に、大変お世話になり、ありがとうございます。



本年は丑(牛)年です。牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたと言われています。また「紐」という漢字に「丑」の字が使われおり、「結ぶ」や「つかむ」などの意味を込めたとも考えられています。昔原道真を祀る天満宮には丑(牛)の像が置かれています。黙々と働く牛の姿は道真の教えにも通ずるものがあり、牛を神の使いとして祀っているようです。大宰府天満宮や京都の北野天神にはいくつかわの像がありますが、そのどの牛も座り込んだ姿をしています。十二支の動物の中で、最も動きが緩慢で歩みの遅い丑(牛)の年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われています。

昨年末、この先20年後の当組合のあるべき姿を見据えた経営ビジョンを『人々に愛され、受け継がれる森林づくり』(私たちは、地域の人々と森林との接点をふやし、森林を愛する心を育みながら、掛川の森林を次世代に受け継いでいきます)と定めました。そして、このビジョンを達成するための戦略三本柱を立てました。

太宰府天満宮の頭を撫でることで知恵を授かる「御神牛」



- ① テクノロジーを活かした次世代型林業経営
  - ② 安定した森林経営のための組織強靱化
  - ③ 人々に愛される森林組合ブランドの育成
- 今後は、この経営ビジョンに向け職員一同がベクトルを揃え、日本林業界の「核」となる森林組合を目指し、三本柱を軸に各部課長が部門別に目標を設定し、掛川市森林組合のチーム力を一歩一歩着実に高めてまいります。今後とも組合員をはじめ関係者の皆様にご指導とご支援を賜りますようお願いし、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 「これいい!」 購買担当「リエさん」の オススメGOODS!!

- しいたけ種駒 にく丸 (1,000ヶ入) ¥3,740(税込) (500ヶ入) ¥2,040(税込)
  - ストッパー付キリ ..... ¥731(税込)
- 乾・生ともに適して、大きくて肉厚のしいたけが採れると毎年人気の品種です。なめこやひらたけなど他の品種もご予約でお取り寄せ可能です。自分で育てて、収穫するしいたけの味はまた格別です。よコロナ禍のおうち時間に、原木しいたけ栽培を楽しんでみてはいかがでしょうか?



組合員さまへのお願い | 相続等で所有山林に異動が生じた際は 森林組合へご一報ください。



発行元  
**掛川市森林組合**  
 〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1  
 TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113  
<http://kakemori.seesaa.net/>



# 木の建築は、作り方も、使い方も創造的です。

2019年に竣工した掛川市の公設民営施設である粟ヶ岳山頂の「茶草場テラス」。市産材を活用し、FSC全体プロジェクト認証を取得した建築について、掛川市で業務を担当した都市政策課係長の戸塚桂子さんにお話を伺いました。



戸塚さんはもともと都市計画が専門だったそう。戸塚・曾祖父が結縁寺の宮大工だったことが、自分が建築の道に進んだきっかけだと思えます。大学の建築学課で都市計画を学び、掛川市の職員になる以前は民間企業で環境と建築に関わる事業に携わっていたので、茶草場テラスの建設はとても有意義な仕事でした。

した。浜松市の(株)竹下一級建築士事務所が決まり、地元の方々に新テラスへの希望について聞き取りも行いました。

テラスの床も、直接座って景色を楽しんでもらえるように、絶妙な高さになっているんです。FSC全体プロジェクト認証も取得しました。戸塚：構造は全て木造で、という気持ちが強かったです。そのためには8メートルの梁の素材がどうしても必要でした。結果、掛川産ヒノキの集成材でこの梁を実現させたことにより、

デザインにはその殻を破る力があると感じます。歌川広重の東海道五十三次を見ると、山が茶色に描かれています。山の木が活用され地面の土が見えているためです。テラスから見える山並みは一面緑色。もともと、地元の木が生活の中で使われたらいいなと思います。



掛川市都市建設部 都市政策課 戸塚 桂子さん

茶草場テラスの形状や意匠についてはどんな狙いがあったのでしょうか？

地元の方からはどんな声が出たのでしょうか？

戸塚：写真に撮って映える、目を引くフォルムにしてほしいと要望がありましたね。総予算や建築面積の縛りをクリアしつつ、地元の声を活かそうと行きたかったのがこの形です。粟ヶ岳からの素晴らしい景色を楽しむためのテラススペースを広くとり、遊び心を盛り込みました。

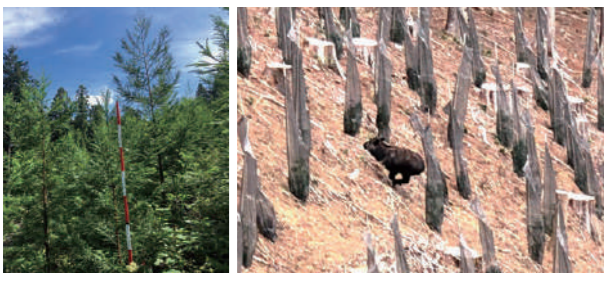
この建物の構造材には倉真産を中心に、掛川市内の木材が使われていますが、少し前までは地域材で地域の建築をつくることは当たり前のようでした。今回の茶草場テラスの建築では、その当たり前を実現できました。前例の殻を破ることは簡単ではありませんが、まちづくりや建築の

## 造林地の獣害対策ポイントとは定期的な「巡視」

当組合では森林の循環利用の為、更新伐を実施し森林の世代交代を行っております。

近年、カモシカやニホンジカ等の獣が増えており、従来どおりの方法では、植栽した苗木が被害等を受けて成林が見込めない状態です。この状況に対応すべく、獣害防護資材の設置を推進しています。

しかし、防護資材はただ設置しただけでは防護効果が十分に発揮できません。



現在8ヶ所の造林地を管理していますが、毎月各造林地を1回は巡視し、苗木の成長の確認や防護資材の手入れを行っています。この巡視をより効率的に行い、確実に成林へ導けるよう今後も研鑽を積み重ねていきたいと思えます。

経営計画課 再造林・獣害対策推進チーム チーフリーダー 須藤 翠



なぜなら、カモシカやニホンジカ等の動物が日々、食べ物を探して造林地に侵入しようとして、防護資材を破損させ、また、強力な台風やゲリラ豪雨により防護資材が被害を受けることもあるからです。破損を放置するとすぐに動物が侵入し、せっかく設置した資材の意味がなくなってしまう。

何年かの試みの中で防護資材の効果を継続的に発揮するためには定期的な巡視と早期の対策が大切

であるということがわかってきました。

毎月各造林地を1回は巡視し、苗木の成長の確認や防護資材の手入れ

を行っています。この巡視をより効率的に行い、

確実に成林へ導けるよう今後も研鑽を積み重ねて

### お知らせ1

地元高校に掛川市産材ヒノキ板(FSC材)の看板を納めました！



静岡県立掛川工業高等学校様からご依頼をいただき、学校図書館の看板を作製・設置しました。工業科の先生が揮毫してくださった文字と、耳付きで存在感のある板によって素敵な仕上がりになりました。図書担当の先生をはじめ、校長先生にも大変ご満足いただけて嬉しい限りです！

### お知らせ2

春植え山行苗木(スギ・ヒノキ・コナラ・クヌギ)の注文を受付しております。配布時期は3月中旬を予定しております。購入希望の方はお早目にご連絡ください。

### 編集後記

あけましておめでとうございます。総務経理課



昨年11月に、女性事務職員の制服を一新しました。着やすさ重視か、見た目重視の制服かで悩みましたが、見た目を選びました。すると、スカートがきつく、苦しい日々が続いたので、ダイエットを決心しました。今年の目標はマイナス〇〇kgで頑張ります。(写真に入れるように笑)